

病気をもった高齢者が 歯科医院に来たらどうしますか？

-既往歴/服用薬剤確認の基本・

歯科でくすりを処方するときの注意点-



講師 **松村 香織 先生**

公立八女総合病院歯科口腔外科医長

日時 **12月2日(土)18時～20時**

会場 **九州ビル9階大ホール 福岡市博多区博多駅南1-8-31**

定員 **190名 ※会員限定 参加費無料**

【学歴】

1999年4月 西南学院高等学校卒業
2005年3月 九州大学歯学部卒業
2005年4月 九州大学病院顎口腔外科入局
2011年4月 九州大学大学院修了、歯学博士号取得

【職歴】

2016年4月 九州大学病院顎口腔外科助教
2018年4月～現在
公立八女総合病院歯科口腔外科医長

【所属学会・認定資格】

日本口腔外科学会専門医、日本口腔科学会指導医、日本小児口腔外科学会指導医、日本有病者歯科医療学会専門医、日本化学療法学会抗菌化学療法認定歯科医師、日本臨床栄養代謝学会認定歯科医師、日本顎関節学会暫定指導医、日本抗加齢医学会専門医、日本口腔ケア学会評議員

【松村先生から】

日本では現在急速に高齢化が進行しています。高齢者の増加により、要介護者の増加が特に問題視されていますが、一方で外来通院のできる高齢者も多く存在します。一般歯科診療所の外来でも全身疾患に対し多くの薬剤を投与されている患者さんの診療をされることが多くなっているのではないのでしょうか。病気をもった有病高齢者に対しては歯科治療を行う前に全身疾患や服用薬剤を把握し、医科と連携して対応することが重要です。

また、私たち歯科医師は、日常的に抗菌薬や鎮痛薬などを処方していますが、特に高齢者に対しては処方薬の選択基準や医科処方薬との相互作用に関する知識をもって対応しなければ大きなトラブルにつながる可能性があります。安心安全な歯科治療のために、本講演では問診による全身疾患や服用薬剤の把握、医科との診療情報連携のしかた、有病高齢者への処方のポイントを中心にお伝えしたいと思います。

👉 返信先 **FAX : 092-473-7182**

会員： ※未入会の先生はご入会ください。

医療機関： TEL：



QRコードからも
申込可能です。